

実効性のある取組につなげる

港区版 架け橋期のカリキュラム

接続の とびら をあけて

港区・港区教育委員会

令和7年3月

あいさつ

港区長 清家 愛

令和6年3月の港区人口推計によると、港区の総人口は令和5年以降増加傾向が継続し、令和17年には32万人を超える見込みです。乳幼児人口（0歳～5歳児）についても、同様に年々増加し続けることが見込まれています。

大使館や海外の企業が多く集まる港区は、国際色豊かで活気にあふれ、多様な人々が集う交流の拠点であると同時に、歴史的な文化財や史跡、豊かな緑や水辺などの自然にも恵まれています。こうした港区のポテンシャルを最大限に生かし、区民の皆様对未来への期待を抱いていただけるよう、誰もが幸せを実感できる子育て・教育施策を推進していくことが重要であると考えています。

区は、これまで他の自治体に先駆けて、小学校においては「国際科」、中学校においては「英語科国際」の授業を実施し、幼少期から英語による遊びや活動を通して多様な文化に触れ、コミュニケーション能力を育み、国際理解教育を充実させてまいりました。また、子どもたち一人一人の違いを多様性として尊重し、不登校や特別支援教育等のスペシャルニーズへの対応を通して、子どもたちがのびのびと成長できる学びの一層の充実を図っているところです。

今後も、未来を生きる子どもたちの教育及び保育の環境整備に尽力し、子どもたちの成長をしっかり支えるとともに、区長部局と教育委員会事務局が互いに力を合わせて、港区ならではの地域特性と時代の変化に対応した魅力ある教育施策を展開し、すべての子どもたちが個性と学びを伸ばせる世界一幸せな「子育て・教育都市」を目指してまいります。

区内の保育園、幼稚園、小学校の先生方におかれましては、日頃より、港区の子どもたちの成長と教育及び保育の充実・発展のために、熱心に取り組んでいただき、大変心強く思っております。今後も、幼児教育施設、学校種にかかわらず、互いに連携の強化を進め、より一層の質の高い教育・保育の実現に向けて、これまで培われた幅広い知識と豊富な経験を今後も発揮されることで、子どもたちの健やかな成長につながっていくことを期待しております。

未来を担う主役は、いつの時代も子どもや若者たちです。未来を担う子どもたちが、地域への誇りと愛着をもって、相互に助け合いながら成長していくことを心から願っております。

本書の改訂に際し、温かく御支援、御協力を賜りました関係機関の皆様には厚く心より感謝申し上げます。

あいさつ

港区教育委員会教育長 浦田 幹男

令和6年12月、文部科学省が中央教育審議会に諮問した「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」によれば、子どもたちを取り巻くこれからの社会の状況は、不確実性の高まりにより、子どもたちは、激しい変化が止まらない状況を生きることが予測されています。

折しも、本区では、港区教育ビジョンを改訂し、今後の10年間を見据え、目指す人間像を「他者を思いやる心を持ちながら、自ら学び、考え、行動し、心豊かに生きる人」と掲げました。子どもたちが社会で活躍する2040年代を展望するとき、誰もが生きやすく、ともに支え合いながら暮らす優しい地域社会を実現するためには、多様性を理解し、他者を思いやる心を育み、新たな時代にふさわしい、質の高い、深い学びを実現していくことが重要であると考えます。

その学びの基礎となる幼児期から児童期にかけての接続期の教育にあたっては、これまで、幼稚園教育要領等や小学校学習指導要領の改訂に伴って策定された「小学校入学前教育カリキュラム」（令和2年3月改訂）を活用し、保幼小が連携して教育の質向上を図ってまいりました。

この間、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼児教育と小学校教育の関係者が共有し、子どもの姿をとおして互いの指導の理解が深まるなどの成果が見られた一方、幼児期と児童期の「学びのつながり」の理解は、個々の保育士や教師で異なっています。あらためてこれまでの成果や課題を整理するとともに、「学びのつながり」をより一層意識し、実効性のある取組にすることを目指して、このたび、名称を新たに「港区版 架け橋期のカリキュラム—接続のとびらをあけて—」として、内容を充実させました。

「港区版 架け橋期のカリキュラム—接続のとびらをあけて—」を各保育園・幼稚園・小学校、保護者、地域の方々が立場を超えて共有し、全ての子どもたちが格差なく質の高い学びへと接続できるようにするとともに、子どもたちが自らの力で未来のとびらを開くことができるよう、さらなる質の高い教育が実現することを期待しております。

結びに、改訂に携わっていただきました東海大学 准教授 寶来 生志子先生、青山学院大学教授 湯川 秀樹先生をはじめ、港区保幼小連絡協議会の皆様、港区小学校入学前教育カリキュラム検討部会の皆様、その他関係の皆様には厚くお礼申し上げます。

はじめに

文部科学省では、令和4年、中央教育審議会 初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会において、「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」が取りまとめられました。本手引きにおいて、5歳児から1年生までの2年間を「架け橋期」と称して焦点をあて、当該時期の教育（以下、「架け橋期の教育」という。）の重要性について、子どもに関わる全ての関係者が立場を超えて連携・協働することが必要であると示されています。

港区では、これまで、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、各保育園・幼稚園、小学校が連携して取組を推進してきました。平成27年1月に子ども家庭支援部と教育委員会が協働して策定した初版「みなときっずなび 「育ちと学び」をつなぐ 小学校入学前教育カリキュラム」、幼稚園教育要領等や小学校学習指導要領の改訂に伴い、令和2年3月に改訂に続いて、今回は、「架け橋プログラム」の趣旨を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、さらに実効性ある実践につなげるための改訂です。

「架け橋期」と称される5歳児と第1学年の2年間をⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期の3期に分け、「学びのつながり」を意識し、幼児教育と小学校の各教科等の始まりの部分について互いの取組を話し合うところから検討を進めてまいりました。

子どもの学びは連続しています。学びが連続しているとはどのようなことなのか、各園・小学校で本書をご活用いただき、全ての子どもに学びや生活の基盤となる資質・能力を育み、保育園・幼稚園・小学校の保育士・教師はもとより、子どもに関わる全ての関係者による協働により、架け橋期の教育の充実を図っていただくよう期待しております。

- *本書を参考に、すぐに生かしたいこと、わからないこと、疑問に思うこと、知りたいと思うことなどを、どこからでも読み進められるように Q&A の形にしてつくりました。
- *文部科学省では、幼稚園等と小学校の表記を「幼保小」の順で整理しています。港区では、保育園・幼稚園・小学校の順に整理していることから、「保幼小」の順で表記します。
- *本書のうち「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」で示された審議のまとめで使用されている文言は、そのままの表記としています。
- *保育所においては「クラス」「保育士」、学校においては「学級」「教師」と表記しますが、実践者の事例に応じて、「学級（クラス）」「教師（保育士）」と表記しています。

表紙の絵の一部：「小学校のとびらは、どんなとびらかな？」港区立三光幼稚園 5歳児による絵

実効性のある取組につなげる 港区版 架け橋期のカリキュラム
—接続のとびらをあけて—

目 次

あいさつ
はじめに

第1章 実効性のある「架け橋期の教育」の実現に向けて	…1
1 国における幼保小接続に関する主な法令改正等の変遷	… 2
2 幼児教育と小学校教育	… 3
3 架け橋プログラムとは	… 4
4 港区における保幼小連携・接続の取組	… 6
第2章 内容	…13
1 実践例	
事例1 I期（5歳児4月）海賊になりたい—海賊ごっこ—	…14
事例2 I期（5歳児5月）せっかくつくったのに全然できない—水路づくり—	…17
事例3 I期（5歳児6月）花火のショーをしよう—空気砲を使って—	…21
事例4 II期（5歳児11～12月）みんなでやればいいんじゃない？ —劇づくりの話し合いへとつながるプロセス—	…26
事例5 II期（5歳児1月）僕が幼虫のお世話をしたい—当番の仕事—	…34
事例6 II期（5歳児2月）氷をつくりたい—氷の実験—	…38
事例7 II期（5歳児3月）全然、決まらない—みんなで遊ぶ遊びを決める—	…42
事例8 II期（1年生4月）ことばのとびら—国語科の取組例—	…47
事例9 II期（1年生4月）かずのとびら—算数科の取組例—	…53
事例10 II期（1年生4月～5月）算数科—単元「なかまづくりと かず」—	…58
事例11 II期（1年生6月～7月）生活科を他教科とつなげる—単元「なつと ともだち」—	…64
事例12 II期（1年生6月）特別活動—「みんなのためになる かかりをかんがえよう」—	…71
事例13 III期（1年生10月）生活科—単元「あきと ともだち」—	…82
事例14 III期（1年生1月）国語科 ICT機器の活用をとおして —単元「これは、なんでしょう」—	…86
2 園・小学校における環境の構成の工夫	…93
第3章 港区版 架け橋期のカリキュラム	…97
1 架け橋期の構造	…98
2 共通の視点	…98
3 小学校教育の学習の始期	…100
4 港区版 架け橋期のカリキュラム	…100
I期 II期 III期	…101
○生活の中での「話すこと・聞くこと、読むこと・書くこと」に視点を当てて	…107
○生活の中での「数」に視点を当てて	…108
○生活の中での「体づくり」に視点を当てて	…109
おわりに	…110
参考資料	…111
・港区保育園幼稚園小学校連絡協議会委員名簿	…111
・港区小学校入学前教育カリキュラム検討部会委員名簿	…111
・港区保育園・幼稚園・小学校連絡協議会設置要綱	…112
・港区小学校入学前教育カリキュラム検討部会設置要領	…113